

問1 江戸時代、西日本の経済の中心地であり、天下の台所と呼ばれた都市はどこ？

1. 京都 2. 大阪 3. 長崎 4. 江戸

問2 江戸時代の農業で、米以外の換金目的で栽培された作物のことを総称して何という？

1. 茶 2. 菜種 3. 綿花 4. 藍

問3 江戸時代初期、現在のどこの国のアユタヤに渡り、朱印船貿易で活躍した日本人がいた？

1. タイ 2. カンボジア 3. フィリピン 4. ベトナム

問4 江戸時代後期に幕府の命で探検を行い、そこが島であることを確認した場所はどこ？

1. 千島列島 2. 琉球 3. 蝦夷地 4. 樺太

問5 江戸時代、5代将軍として儒学を厚く奨励し、武力による政治から道徳や学問を重視する政治へ転換した人物は誰？

1. 徳川家光 2. 徳川綱吉 3. 徳川家康 4. 徳川吉宗

問6 江戸幕府が大名を統制するために定めた法律を何という？

1. 公事方御定書 2. 禁中並公家諸法度 3. 武家諸法度 4. 寺院諸法度

問7 江戸幕府が社会の安定を目的として、学問として公認し奨励した、五代将軍によって広められた思想を何という？

1. 朱子学 2. 国学 3. 古学 4. 陽明学

問8 アヘン戦争での清の敗北を受け、日本が西洋に対抗するために推進した、薩摩藩なども取り組んだ対策を何という？

1. 尊皇攘夷 2. 廃藩置県 3. 富国強兵 4. 軍事力強化

問9 江戸幕府が財政難を補うために、金銀の含有量を減らして貨幣を新たに鑄造することを何という？

1. 貨幣の改鑄 2. 検地 3. 兵農分離 4. 土農工商

問10 享保の改革を断行した徳川吉宗は、江戸幕府の何代将軍？

1. 第十一代将軍 2. 第八代将軍 3. 第三代将軍 4. 第五代将軍

問11 樽廻船で江戸に大量に運ばれ、消費地である江戸の食生活を支えた調味料は何？

1. みそ 2. さけ 3. しょうゆ 4. さとう

問12 豊臣秀吉が朝鮮に対して行い、その結果として日朝間の国交が一時断絶することとなった大規模な軍事行動を何という？

1. 応仁の乱 2. 島原の乱 3. 大塩平八郎の乱 4. 朝鮮侵略

問13 『富嶽三十六景』を描いた、江戸時代を代表する浮世絵師は誰？

1. 喜多川歌麿 2. 葛飾北斎 3. 歌川広重 4. 東洲斎写楽

問14 アイヌ民族が居住する地として知られ、明治時代に改称された現在の日本の地域を何という？

1. 北海道 2. 千島列島 3. 沖縄県 4. 樺太

問15 キリスト教の禁止や海外渡航の制限を経て、江戸幕府がとった対外関係を断絶させる政策を何という？

1. 参勤交代 2. キリスト教禁止 3. 鎖国 4. 武家諸法度

問16 江戸時代、年貢の取り立てなどに苦しみ、支配層に反抗した農民のことを何という？

1. 職人 2. 商人 3. 武士 4. 百姓

答え合わせ・解説

問1	答え 2 大阪	大阪は諸藩の蔵屋敷が立ち並び、全国から米や特産物が集まる流通拠点となりました。ここでの取引価格が全国の物価の基準となるほど、経済的に重要な役割を果たしました。
問2	答え 3 綿花	綿花、菜種、タバコなどの商品作物は、米よりも利益率が高く、各地の気候に合わせて栽培が奨励されました。これらの作物は、加工業や地域の特産品としても発展しました。
問3	答え 1 タイ	現在のタイにあたる当時のシャム（アユタヤ王国）には、多くの日本人が集まって日本町を築いていました。山田長政はその代表的な人物で、アユタヤ王国の高官にまで登り詰め、日本との交易を支えました。
問4	答え 4 樺太	間宮林蔵は幕府の命を受け、北方の探検を行いました。当時の人々は大陸と繋がっていると考えていましたが、林蔵は海峡を発見し、そこが島であることを証明しました。この海峡は現在「間宮海峡」と呼ばれています。
問5	答え 2 徳川綱吉	綱吉は自ら儒学を学び、幕府の公的な学問として朱子学を積極的に取り入れました。これにより、社会全体の秩序を守るための道德教育が重視されるようになりました。また、生類憐みの令を出したことでも有名ですが、学問の奨励もその統治の大きな柱でした。
問6	答え 3 武家諸法度	「武家諸法度」は、城の改築や大名同士の婚姻を幕府の許可制にするなど、大名の行動を厳しく制限する法律です。この法度を守らない大名は改易や減封の処分を受けることがありました。これにより、幕府は全国の武士を完全に支配下に置きました。
問7	答え 1 朱子学	五代将軍徳川綱吉が特に好んだことで、武士の教養として欠かせないものとなりました。幕府は昌平坂学問所を整備し、ここを拠点に朱子学を教授しました。主従関係や家族の礼儀を説く内容は、幕藩体制を正当化する思想として都合が良かったのです。
問8	答え 4 軍事力強化	特に薩摩藩などは西洋の軍事技術を積極的に取り入れ、鉄製の大砲を鑄造するための「反射炉」を建設しました。これは日本の近代化のさきがけであり、幕府や各藩がこぞって西洋式の砲術や造船技術の習得に励んだのです。
問9	答え 1 貨幣の改鑄	幕府は貨幣の質を落として金銀の含有量を減らす改鑄を行い、同じ量の貴金属からより多くの貨幣を鑄造して差益を得ようとしていました。しかし、結果として貨幣の価値が下がり、急激な物価上昇を招いて庶民の生活を苦しめました。
問10	答え 2 第八代将軍	紀州藩主であった徳川吉宗は、1716年に第8代将軍に就任すると、財政再建を第一の目的として「享保の改革」を行いました。彼は、大名に米を献上させる「上げ米の制」を導入し、新田開発を奨励して米の生産増をはかりました。また、裁判の基準として「公事方御定書」を制定し、法律による統治を強化したことも大きな特徴です。
問11	答え 3 しょうゆ	樽廻船は、酒やしょうゆといった生活必需品を、大阪から江戸へ定期的に運ぶための船でした。特にしょうゆは江戸の料理や蕎麦などの食文化において欠かせない調味料であり、大量消費されました。これにより江戸の食生活が豊かになり、流通が発達しました。
問12	答え 4 朝鮮侵略	その過程で朝鮮に対して明への道を譲るよう要求しましたが、拒否されたため大軍を送りました。これが二度にわたる朝鮮侵略です。この戦いで朝鮮は甚大な被害を受け、日本と朝鮮の間の国交は完全に途絶えることとなりました。
問13	答え 2 葛飾北斎	葛飾北斎は、各地から富士山を眺めた景色を描いた『富嶽三十六景』で、浮世絵の中に「風景画」というジャンルを確立しました。大胆な構図と、輸入染料「ベロ藍」を使用した鮮やかな青色が特徴で、当時の人々に衝撃を与えました。
問14	答え 1 北海道	明治維新後、政府は北方領土の守備と開発を目的として「開拓使」を設置し、1869年にこの地を「北海道」と改称しました。これにより本格的な開拓が始まり、多くの移住者が本土から渡りました。
問15	答え 3 鎖国	幕府は段階的に貿易を制限し、1630年代には日本人の海外渡航や帰国を禁止しました。また、キリスト教を排除するため、宣教師や信者を厳しく取り締まりました。最終的には長崎の出島を窓口として、オランダ・中国など限られた相手とのみ貿易を行う体制が整いました。これが後の鎖国体制です。
問16	答え 4 百姓	百姓たちは団結して村の代表者が領主に直訴する「代表越訴」や、武装して抵抗する「一揆」などを行い、自らの権利や生存を守ろうとしました。これは支配体制に対する強い不満の表れであり、幕府や藩の統治に大きな緊張を与えました。